

# 平成28年度 施策評価シート

|       |  |
|-------|--|
| 基本目標  | 新しい事業が起き、人が集まる「すみだ」をつくる  |
| 政策    | 310 活力ある、新たな産業の創出を図る   |
| 施策    | 312 ニュービジネス、ベンチャー企業など次世代を担う産業を創出する   |
| 施策の目標 | 交通利便性やものづくり企業の集積といった立地メリットを活かして創業や企業の流入が活発に行われ、ものづくりと結びついた新たなビジネスが起これ、次世代をリードするベンチャー企業が数多く集積しています。 |

## 1 基本計画における成果指標

| 指標名          | 単位 | 目標値 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 |
|--------------|----|-----|------|------|------|------|------|
| 1年当たりの新設事業所数 | 所  | 310 | -    | -    | 306  | -    | -    |
|              |    |     |      |      |      |      |      |

## 2 1の「成果指標」以外に施策の進捗状況を示す指標

| 指標名 | 単位 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 |
|-----|----|------|------|------|------|------|
|     |    |      |      |      |      |      |
|     |    |      |      |      |      |      |
|     |    |      |      |      |      |      |

## 3 目標と現状(実績)についての分析

|   |
|---|
| 指標の推移・施策の課題や問題点について記述   |
| 区内中小企業と大学等の研究機関による共同研究・共同開発は容易ではないが、区内企業と大学の研究者等との接点を見出す工夫を行うなど、徐々にではあるが、共同研究への機運が高まってきている。 |

## 4 今後の施策の運営方針

|   |
|---|
| 施策の戦略的方向性（選択肢に を付ける）  |
| (1) 優先的に資源投入を図る。  |
| (2) 現状維持とする。  |
| (3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。   |
| (4) 資源投入の縮小を図る。   |
| 【上記の判断理由】<br>平成26年度6月に国の産業競争力強化法に基づく創業支援計画が認定され、計画に基づき実施している創業支援事業が一定の効果を見せ始めている。           |
| 【今後の具体的な方針】<br>区の産業集積を維持・発展させていくためにも、すみだ中小企業センターの地域内事業承継事業と並行して区内創業の促進に向けた創業支援事業の創出を検討していく。 |



|       |                   |                                |            |              |
|-------|-------------------|--------------------------------|------------|--------------|
| 事務事業名 | 創造的事業活動立地・交流促進事業  |                                | 所管課・係      | 産業経済課        |
| 施策    | 312               | ニュービジネス、ベンチャー企業など次世代を担う産業を創出する | 連絡先        | 03-5608-6188 |
| 予算書名称 | 創造的事業活動立地・交流促進事業費 |                                | 執行実績報告書ページ | 135          |

1 事業の概要

|  |        |        |
|--|--------|--------|
| ファッション関連産業等の分野で創業をめざす個人、法人、団体等を対象として設置する「クリエイティブスタジオ」を円滑に運営し、入居者が支払う施設賃料等の一部を補助することで、ファッション関連産業をはじめ、各種産業の一層の集積を図る。 | 事業開始年度 | 平成13年度 |
|  | 終了予定年度 |        |

2 事業の対象・手段・目的(具体的に、限定的に記入してください)

| <b>【対象】 誰(何)を対象としているのか</b>   |                 |          |     |       |       |       |
|--|-----------------|----------|-----|-------|-------|-------|
| 新規に創業しようとする個人、創業5年未満の個人事業者及び法人・団体、または墨田区を拠点に事業活動を行おうとする者                   |                 | に対して     |     |       |       |       |
| <b>【手段】 どのような方法で行ったのか(具体的な事業内容)</b>  |                 |          |     |       |       |       |
| 国際ファッションセンター株式会社と共同で、国際ファッションセンタービル10Fにある創業支援オフィス(9室および交流スペース)を活用して、各種創業支援 |                 | を実施したことで |     |       |       |       |
| <b>【目的】 この事業によって対象をどのような状態にするのか</b>  |                 |          |     |       |       |       |
| 不安定な創業期を乗り越え、区内に定着して意欲的に事業活動を行っている、また、他の区内企業との連携も活発に行われ、地域経済の活性化に寄与している    |                 | 状態にする。   |     |       |       |       |
| <b>目的を達成するための指標</b>  |                 |          |     |       |       |       |
| 種類   | 指標名(指標の説明)      | 単位       | 年度  | H25年度 | H26年度 | H27年度 |
| 活動指標<br>(手段に対する指標)   | 「事業支援相談」利用延べ企業数 | 人        | 目標値 | 25    | 25    | 25    |
|  |                 |          | 実績値 | 27    | 18    | 17    |
| 成果指標<br>(目的に対する指標)   | 入居企業の区内定着数      | 人        | 目標値 |       |       | 3     |
|  |                 |          | 実績値 |       |       | 4     |
| <b>目的の達成に対する事業の結果(指標分析と事業実績の要因分析)</b>                                      |                 |          |     |       |       |       |
| 定期的に入居者への支援相談会を行うことで、退去後の計画を話しあった結果、区内定着や、新規創業する企業が増えた。                    |                 |          |     |       |       |       |

3 予算・決算状況(金額の単位は全て千円) \*歳出は切上げ、歳入は切下げ

| 科目                      | 款  | 産業観光費         | 項                       | 商工費         | 目                                    | 商工振興費             |        |
|-------------------------|--|---------------|-------------------------|-------------|--------------------------------------|-------------------|--------|
| 27年度<br>歳出予算額           | 15,458   | 27年度<br>歳出決算額 | 15,270                  | 27年度<br>執行率 | 98.8%                                | 28年度<br>歳出<br>予算額 | 15,458 |
| 27財源内訳<br>(決算額)         | 国庫支出金<br>無   | 都支出金<br>無     | その他<br>無                | 一般財源<br>有   |                                      |                   |        |
| 使用料等の収入の有無              | 無  | 使用料等名称        |                         |             |                                      | 収入額               |        |
| 補助金名称<br>*複数ある場合は代表的なもの | クリエイティブスタジオ運営協議会補助金                                      |               |                         |             |                                      |                   |        |
| 27年度<br>実績額             | 15,270   | 28年度<br>予算額   | 15,458                  | 対象          | クリエイティブスタジオ運営協議会                     |                   |        |
| 開始<br>年度                | 平成22年度   | 根拠法令          | クリエイティブスタジオ運営協議会補助金交付要綱 |             |                                      |                   |        |
| 算定基準                    | 新規に創業しようとする個人、創業5年未満の個人事業者及び法人・団体、または墨田区を拠点に事業活動を行おうとする者 |               |                         | 補助率         | 補助金の額は、対象事業に要する経費について、予算の範囲において交付する。 |                   |        |

平成28年度 事務事業評価シート

4 視点別の評価(担当者評価)

|  |   |    |       |             |
|--|---|----|-------|-------------|
| (1)事業の必要性  | 評価結果  | 低い | 前年度評価 | どちらかといえば必要  |
| <p>事業開始当初と比べ、入居企業の業態が多岐にわたっており、創業支援オフィスの必要性が低下している。</p>            |   |    |       |             |
| (2)事業の有効性  | 評価結果  | 低い | 前年度評価 | どちらかといえば有効  |
| <p>墨田区内を拠点に創業する者を対象としているにもかかわらず、施設退室後の区内定着率が低い。</p>                |   |    |       |             |
| (3)事業の効率性  | 評価結果  | 低い | 前年度評価 | どちらかといえば効率的 |
| <p>一定の選定基準があるものの、入居状況によって募集する人数やタイミングがさまざまであるため、入居者の熱意等に差が生じる。</p> |   |    |       |             |
| (4)現状と課題   | <p>本当に支援を必要としている者に対し、支援を行うことができるように、募集・選定の方法を検討する。区内定着させるための働きかけを行う必要がある。</p> |    |       |             |

5 総合評価(課長評価)

|                        |   |      |  |
|------------------------|---|------|--|
| 評価結果                   | 改善・見直し  | 判定理由 | <p>支援目的に対しては、一定の効果が認められるが、区内企業との連携や地域活性化の目的に対しては、直接的な事業効率を得られにくい状況にある。今後、入居条件などの見直しを含め検討する必要がある。</p> |
| 今後の方向性<br>(見直しの視点)     | <p>産業振興マスタープランの方向性に合わせて、事業の見直しを図る必要がある。区内企業との連携や地域活性化を図ることができるシステムの構築を目指し、入居条件等を見直しを検討する。</p> |      |  |
| 平成27年度区<br>議会の質問状<br>況 | 時期  | 無    |  |
|                        | 要旨  | 無    |  |

|       |                                    |            |              |
|-------|------------------------------------|------------|--------------|
| 事務事業名 | ゼロから始める起業ゼミ                        | 所管課・係      | すみだ中小企業センター  |
| 施策    | 312 ニュービジネス、ベンチャー企業など次世代を担う産業を創出する | 連絡先        | 03-3617-4351 |
| 予算書名称 | 産学官連携の推進                           | 執行実績報告書ページ | 144          |

1 事業の概要

|   |        |        |
|---|--------|--------|
| 起業や創業に意欲のある者が、講義を通してビジネスプランを作成し、ブラッシュアップしながら、ビジネスコンテストで発表を行う。同事業は、早稲田大学との産学官連携事業の一環としてH21年度より実施しており、早稲田大学でベンチャー企業のコンサルティングを行っている現役コンサルタントがビジネスプランの作り方や発想法などを講義する。また、H26年度からは同起業ゼミ卒業生と受講生との交流会を実施している。 | 事業開始年度 | 平成21年度 |
|   | 終了予定年度 |        |

2 事業の対象・手段・目的(具体的に、限定的に記入してください)

|   |          |
|---|----------|
| <b>【対象】 誰(何)を対象としているのか</b>  |          |
| 区内で起業・創業意欲のある18歳以上の者  | に対して     |
| <b>【手段】 どのような方法で行ったのか(具体的な事業内容)</b>   |          |
| 早稲田大学でベンチャー企業のコンサルティングを行っている企業に委託し、「起業とは何か」、「実際の起業」、「プレゼンテーションテクニック」についての講義、ビジネスプランコンテスト等 | を実施したことで |
| <b>【目的】 この事業によって対象をどのような状態にするのか</b>   |          |
| 墨田区でビジネスを学び、墨田区で起業、創業を目指す人材を支援し、区内での起業・創業が多く行われている  | 状態にする。   |

目的を達成するための指標

| 種類                 | 指標名(指標の説明) | 単位 | 年度  | H25年度 | H26年度 | H27年度 |
|--------------------|------------|----|-----|-------|-------|-------|
| 活動指標<br>(手段に対する指標) | 受講者数       | 人  | 目標値 | 30    | 30    | 30    |
|                    |            |    | 実績値 | 24    | 22    | 24    |
| 成果指標<br>(目的に対する指標) | 起業件数       | 件  | 目標値 | 3     | 3     | 5     |
|                    |            |    | 実績値 | 5     | 5     | 5     |

目的の達成に対する事業の結果(指標分析と事業実績の要因分析)

|  |
|--|
| 大きく変化する社会経済情勢の中で起業・創業を実現させることは容易ではないにも関わらず、毎年同起業ゼミの受講生から一定数の起業・創業者が出ており、事業開始以来、継続して成果を上げている。 |
|--|

3 予算・決算状況(金額の単位は全て千円) \*歳出は切上げ、歳入は切下げ

| 科目                      | 款          | 産業観光費     | 項        | 商工費       | 目      | 中小企業センター費 |       |
|-------------------------|------------|-----------|----------|-----------|--------|-----------|-------|
| 27年度歳出予算額               | 2,000      | 27年度歳出決算額 | 2,000    | 27年度執行率   | 100.0% | 28年度歳出予算額 | 2,050 |
| 27財源内訳(決算額)             | 国庫支出金<br>無 | 都支出金<br>無 | その他<br>有 | 一般財源<br>有 |        |           |       |
| 使用料等の収入の有無              | 有          | 使用料等名称    | 受講料      |           |        | 収入額       |       |
| 補助金名称<br>*複数ある場合は代表的なもの |            |           |          |           |        |           |       |
| 27年度実績額                 |            | 28年度予算額   |          | 対象        |        |           |       |
| 開始年度                    |            | 根拠法令      |          |           |        |           |       |
| 算定基準                    |            |           |          | 補助率       |        |           |       |

平成28年度 事務事業評価シート

4 視点別の評価(担当者評価)

|  |   |             |       |             |
|--|---|-------------|-------|-------------|
| (1)事業の必要性  | 評価結果  | どちらかといえば必要  | 前年度評価 | どちらかといえば必要  |
| <p>起業・創業に関する相談は増加しており、今後も一定の需要が見込まれる。将来の区内産業の活性化を進めていくためには、起業・創業支援は重要な事業である。</p>   |   |             |       |             |
| (2)事業の有効性  | 評価結果  | どちらかといえば有効  | 前年度評価 | どちらかといえば有効  |
| <p>受講生の中から毎年数名の起業・起業者があり、成果を上げているため、今後も一定の需要が見込まれることが予想される。</p>  |   |             |       |             |
| (3)事業の効率性  | 評価結果  | どちらかといえば効率的 | 前年度評価 | どちらかといえば効率的 |
| <p>区内における他の起業・創業塾等はあるものの本事業は比較的安価に受講できる。またそれらとの交流促進を効果的に図るなど検討する余地はある。なお、受益者負担を実施してから、起業等についてモチベーションの高い受講者が増え、成果の向上に結びついている。なお事業経費については横ばいである。</p> |   |             |       |             |
| (4)現状と課題   | <p>本事業の卒業生に限らず、起業経験者や異業種企業と受講生とのつながりをより深めていくような効果的な交流の場の創出が必要である。</p> |             |       |             |

5 総合評価(課長評価)

|                        |   |      |  |
|------------------------|---|------|--|
| 評価結果                   | 現状維持  | 判定理由 | <p>本区の産業を活性化していくためには、起業・創業の機運を醸成していくことは重要であり、そのきっかけや後押しをしている本事業の実施意義は高い。また、本ゼミナールの卒業生によるネットワークも確立されており、今後のビジネスチャンス拡大にも期待できるため。</p> |
| 今後の方向性<br>(見直しの視点)     | <p>引き続き、起業・創業の機運醸成に努めるとともに、OBOG、他の起業塾等のネットワーク拡大にも努めていく。</p> |      |  |
| 平成27年度区<br>議会の質問状<br>況 | 時期  | 無    |  |
|                        | 要旨  | 無    |  |

|       |                     |                                |            |              |
|-------|---------------------|--------------------------------|------------|--------------|
| 事務事業名 | 産学官連携共同研究等マッチング支援事業 |                                | 所管課・係      | すみだ中小企業センター  |
| 施策    | 312                 | ニュービジネス、ベンチャー企業など次世代を担う産業を創出する | 連絡先        | 03-3617-4351 |
| 予算書名称 | 産学官連携の推進            |                                | 執行実績報告書ページ | 144          |

## 1 事業の概要

|  |        |        |
|--|--------|--------|
| 区内中小企業が大学等研究機関との共同研究や共同開発を行う際の支援事業として平成17年度に開始した。すみだ中小企業センターの企業相談員による区内企業のニーズ掘り起こしと大学等とのマッチング支援及び、研究開発に係る費用の一部を助成する「産学官連携共同研究促進支援事業」を実施している。 | 事業開始年度 | 平成17年度 |
|  | 終了予定年度 |        |

## 2 事業の対象・手段・目的(具体的に、限定的に記入してください)

|   |               |    |     |       |       |          |
|---|---------------|----|-----|-------|-------|----------|
| <b>【対象】 誰(何)を対象としているのか</b>  |               |    |     |       |       |          |
| 大学等研究機関との共同研究・共同開発を行っている、又は検討している区内中小企業   |               |    |     |       |       | に対して     |
| <b>【手段】 どのような方法で行ったのか(具体的な事業内容)</b>   |               |    |     |       |       |          |
| 中小企業センターの企業相談員が区内企業のニーズの掘り起こしを行い、企業の課題に対して適切な大学等の連携先の紹介<br>企業と大学が共同研究、共同開発を行う際の、必要な経費の一部の助成   |               |    |     |       |       | を実施したことで |
| <b>【目的】 この事業によって対象をどのような状態にするのか</b>   |               |    |     |       |       |          |
| 区内中小企業と大学等研究機関が共同して、新製品や新技術の研究、開発を行い、区内企業の高付加価値が図られている  |               |    |     |       |       | 状態にする。   |
| <b>目的を達成するための指標</b>   |               |    |     |       |       |          |
| 種類  | 指標名(指標の説明)    | 単位 | 年度  | H25年度 | H26年度 | H27年度    |
| 活動指標<br>(手段に対する指標)  | 区内企業と大学との連携   | 件  | 目標値 | 1     | 1     | 1        |
|   |               |    | 実績値 | 0     | 1     | 1        |
| 成果指標<br>(目的に対する指標)  | 共同研究・共同開発への助成 | 件  | 目標値 | 1     | 1     | 1        |
|   |               |    | 実績値 | 0     | 1     | 1        |
| <b>目的の達成に対する事業の結果(指標分析と事業実績の要因分析)</b>   |               |    |     |       |       |          |
| 区内中小企業と大学等研究機関との共同研究、共同開発は、経費や組織体制の問題から容易には進めることができないものである。そのような状況の中、中小企業センターの企業相談員による区内企業のニーズの掘り起こしと大学等研究機関とのマッチングを図ることにより、補助金の活用、試作品の完成などといった成果が着実に生まれつつある。 |               |    |     |       |       |          |

## 3 予算・決算状況(金額の単位は全て千円) \*歳出は切上げ、歳入は切下げ

|                         |                |                           |                               |             |                    |                   |     |
|-------------------------|----------------|---------------------------|-------------------------------|-------------|--------------------|-------------------|-----|
| 科目                      | 款              | 産業観光費                     | 項                             | 商工費         | 目                  | 中小企業センター費         |     |
| 27年度<br>歳出予算額           | 600            | 27年度<br>歳出決算額             | 86                            | 27年度<br>執行率 | 14.3%              | 28年度<br>歳出<br>予算額 | 500 |
| 27財源内訳<br>(決算額)         | 国庫支出金          | 都支出金                      | その他                           | 一般財源        |                    |                   |     |
|                         | 無              | 無                         | 無                             | 有           |                    |                   |     |
| 使用料等の収入の有無              | 無              | 使用料等名称                    |                               |             |                    | 収入額               |     |
| 補助金名称<br>*複数ある場合は代表的なもの |                | 墨田区産学官連携共同研究促進支援事業に関する補助金 |                               |             |                    |                   |     |
| 27年度<br>実績額             | 86             | 28年度<br>予算額               | 500                           | 対象          | 区内中小企業             |                   |     |
| 開始<br>年度                | 平成17年度         | 根拠法令                      | 墨田区産学官連携共同研究促進支援事業に関する補助金交付要綱 |             |                    |                   |     |
| 算定基準                    | 予算補助・渡切補助・定率補助 |                           |                               | 補助率         | 補助対象経費の2/3(上限50万円) |                   |     |

平成28年度 事務事業評価シート

4 視点別の評価(担当者評価)

|   |  |             |       |             |
|---|--|-------------|-------|-------------|
| (1)事業の必要性   | 評価結果   | 高い          | 前年度評価 | どちらかといえば必要  |
| <p>新製品や新技術を有する区内企業は少なからず存在するが、これらを実用化するには、専門的な視点による性能の分析と、材質、形状等の検討が必要となる。大学等との連携を区内中小企業単独で開始することは困難であり、企業の高付加価値化を推進するためにも、区が産学連携の端緒を開く必要がある。</p> |  |             |       |             |
| (2)事業の有効性   | 評価結果   | 上昇          | 前年度評価 | どちらかといえば有効  |
| <p>実績値は横ばいで推移しているが、現在、複数の区内企業で大学とのマッチング案件が進行しており、今後は実績が増加すると想定される。産学連携においては、企業の課題を的確に把握することが重要であり、中小企業センターの企業相談員による地道なニーズの発掘が有効である。</p>           |  |             |       |             |
| (3)事業の効率性   | 評価結果   | どちらかといえば効率的 | 前年度評価 | どちらかといえば効率的 |
| <p>関連・類似する事業はなく、他の事業との統合は困難である。事業経費は横ばいで推移しているが、現在進行中の区内企業と大学との連携が実現すれば、補助実績額の増加が見込まれる。</p>   |  |             |       |             |
| (4)現状と課題  | 区内企業のニーズを常に把握する必要があり、区内企業と大学との接点を生み出しやすい手段を検討する必要がある |             |       |             |

5 総合評価(課長評価)

|                        |  |      |  |
|------------------------|--|------|--|
| 評価結果                   | 現状維持   | 判定理由 | <p>本区のように小規模零細企業が数多い地域において、区内企業のニーズと大学のシーズをマッチングさせることは容易ではないが、本事業は産業分野と大学の連携という「産学官連携」の中心に位置する事業であるため。</p> |
| 今後の方向性<br>(見直しの視点)     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業センターの見直しに基づいて、今後の事業の位置づけを検討する。</li> <li>・大学の研究機関との連携に興味を持っている企業の発掘に努め、マッチングを進めていく。</li> <li>・産学官金連携の体制を構築していく中で事業効果の向上を図っていく。</li> </ul> |      |  |
| 平成27年度区<br>議会の質問状<br>況 | 時期   |      |  |
|                        | 要旨   |      |  |



|       |              |                                |            |              |
|-------|--------------|--------------------------------|------------|--------------|
| 事務事業名 | 「すみだの光」発掘事業  |                                | 所管課・係      | すみだ中小企業センター  |
| 施策    | 312          | ニュービジネス、ベンチャー企業など次世代を担う産業を創出する | 連絡先        | 03-3617-4351 |
| 予算書名称 | 産学官連携事業の推進経費 |                                | 執行実績報告書ページ | 144          |

1 事業の概要

|   |        |        |
|---|--------|--------|
| 区の国際観光都市づくりを推進するため、千葉工業大学の都市空間デザインの知見を取り入れることで、観光客に訪訪してもらえただけの魅力を持ちながら未だ埋もれている地域資源を「すみだの光」と定義し、これらの発掘調査及び区への来訪客を増やすための活用方法の提案事業を実施している。 | 事業開始年度 | 平成26年度 |
|   | 終了予定年度 | 平成28年度 |

2 事業の対象・手段・目的(具体的に、限定的に記入してください)

| 【対象】 誰(何)を対象としているのか   |                    |    |     |       |          |       |
|---|--------------------|----|-----|-------|----------|-------|
| 墨田区内の建築物、構造物等   |                    |    |     |       | に対して     |       |
| 【手段】 どのような方法で行ったのか(具体的な事業内容)  |                    |    |     |       |          |       |
| 千葉工業大学の都市空間デザインの知見を活用し、観光客に訪訪してもらえただけの魅力を持ちながら未だ埋もれている地域資源の発掘及び区の観光施策に生かすための検討  |                    |    |     |       | を実施したことで |       |
| 【目的】 この事業によって対象をどのような状態にするのか  |                    |    |     |       |          |       |
| 観光商品として具体化させ、すみだの新たな魅力に興味のある来訪者が増えている   |                    |    |     |       | 状態にする。   |       |
| 目的を達成するための指標  |                    |    |     |       |          |       |
| 種類  | 指標名(指標の説明)         | 単位 | 年度  | H25年度 | H26年度    | H27年度 |
| 活動指標<br>(手段に対する指標)  | 活動回数(フィールドワーク・報告会) | 回  | 目標値 |       |          | 10    |
|   |                    |    | 実績値 |       | 11       | 4     |
| 成果指標<br>(目的に対する指標)  | 商品提案               | 件  | 目標値 |       |          | 1     |
|   |                    |    | 実績値 |       | 1        | 1     |
| 目的の達成に対する事業の結果(指標分析と事業実績の要因分析)  |                    |    |     |       |          |       |
| H26年度は、すみだの街並みから醸し出される特有の「下町らしさ」についてのフィールドワーク及びその分析が報告された。<br>H27年度は、事例調査や他地域での実証実験等を行い、「すみだの光」を体感するために必要となるポイントを抽出・整理した。<br>H28年度は、26、27年度の考察により導き出してきた内容を基に商品化のための「プロセス」を検討した上でトライアルツアー等を行い、具体的な観光商品としての提案を行っていく。 |                    |    |     |       |          |       |

3 予算・決算状況(金額の単位は全て千円) \*歳出は切上げ、歳入は切下げ

| 科目                      | 款          | 産業観光費         | 項        | 商工費         | 目      | 中小企業センター費         |     |
|-------------------------|------------|---------------|----------|-------------|--------|-------------------|-----|
| 27年度<br>歳出予算額           | 750        | 27年度<br>歳出決算額 | 750      | 27年度<br>執行率 | 100.0% | 28年度<br>歳出<br>予算額 | 750 |
| 27財源内訳<br>(決算額)         | 国庫支出金<br>無 | 都支出金<br>無     | その他<br>無 | 一般財源<br>有   |        |                   |     |
| 使用料等の収入の有無              | 無          | 使用料等名称        |          |             |        | 収入額               |     |
| 補助金名称<br>*複数ある場合は代表的なもの |            |               |          |             |        |                   |     |
| 27年度<br>実績額             |            | 28年度<br>予算額   |          | 対象          |        |                   |     |
| 開始<br>年度                |            | 根拠法令          |          |             |        |                   |     |
| 算定基準                    |            |               |          | 補助率         |        |                   |     |

平成28年度 事務事業評価シート

4 視点別の評価(担当者評価)

|  |   |             |       |             |
|--|---|-------------|-------|-------------|
| (1)事業の必要性  | 評価結果  | どちらかといえば必要  | 前年度評価 | どちらかといえば必要  |
| <p>未だ埋もれている地域資源(すみだの光)により、本区の既存の文化的価値とは異なる特定の分野に強い興味を持つ人々を対象とした観光商品を想定しており、その資源が多面的に深掘されていくことにより、より多くの「すみだファン」を開拓する新しい観光機会になる可能性がある。よって、すみだの高い魅力を発信していくにあたって、必要であると考えます。</p> |   |             |       |             |
| (2)事業の有効性  | 評価結果  | どちらかといえば有効  | 前年度評価 | どちらかといえば有効  |
| <p>建築物・構造物などの魅力を空間デザインの観点から研究している専門家の知見を取り入れることで、未だ埋もれている地域資源(すみだの光)の発掘につながると考える。</p>  |   |             |       |             |
| (3)事業の効率性  | 評価結果  | どちらかといえば効率的 | 前年度評価 | どちらかといえば効率的 |
| <p>関連・類似事業はなく、他の事業との統合はできない。フィールドワーク等による調査が必要であるため、経費は、横ばいで推移している。</p>   |   |             |       |             |
| (4)現状と課題   | <p>大学の自主性や自由な発想を尊重しつつ、区の施策に生かせるような報告内容となるように、大学との意思疎通を密にして事業を進めていく必要がある。また、商品化にあたっては、墨田区観光協会との連携が必要になる。</p> |             |       |             |

5 総合評価(課長評価)

|                    |   |      |   |
|--------------------|---|------|---|
| 評価結果               | 現状維持  | 判定理由 | 都市空間デザインという視点を本区の観光分野に取り入れるといった、これまで実施していなかった産学官連携の取り組みであり、新たな本区の魅力を発掘する試みとして有効であると判断できるため。 |
| 今後の方向性<br>(見直しの視点) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業センターの見直しに基づいて、今後の事業の位置づけを検討する。</li> <li>・本事業が具体的な成果に繋がっていくよう今後の方向性を検討し、関係機関との連携を図っていく。</li> </ul> |      |   |
| 平成27年度区議会の質問状況     | 時期  | 無    |   |
|                    | 要旨  | 無    |   |